

令和5年10月25日(水)、11月22日(水)に名古屋市立比良小学校4年生を対象に、社会科「自然災害からくらしを守る」の授業の支援を行いました。授業では、近年の大規模水害や東海豪雨の様子、比良学区の地形の特徴や水災害の危険性について紹介し、水災害からくらしを守る行政の取組について理解を深めるとともに、自分たちがすべきことは何かを考えました。



全国で発生した水害やその対策、比良学区での水災害リスクなどについて紹介(10/25)



比良学区の地形の特徴や水災害の危険性をふまえて、自分たちは何すべきか考える(11/22)

10/25の授業を通じて下記のような質問・意見がありました。

- 庄内川の堤防が決壊したら、この学区ではどれくらいで逃げないといけないのですか。
- 浸水3メートルの場合、この水はどれくらいで引きますか。
- 南海トラフ巨大地震があった場合、庄内川への影響はありますか？
- 南海トラフ巨大地震が起きた場合、ビルも壊れますか。

11/22の授業を通じて下記のような質問・意見がありました。

- 水を貯める箇所は庄内緑地、ダム以外にあるのですか。
- 堤防や橋を高くすること以外の公助はなにがありますか。
- 避難場所にあふれるほどの人が避難した場合どうなりますか。
- 避難場所が浸水したらどうしたらよいですか。
- 非常用バックの中身は何が必要ですか？
- 雨の量が増えているのはなぜですか？